

黒潮の北偏傾向は今後も継続

0m深では「やや高め～高め」、100m深では「平年並～高め」で推移
(令和5年4月の海況と今後の予測)

1 海洋観測結果 (4/4～5: 調査船「いばらき丸」)

- 水深別水温図を図2、3、4に、鉛直図を図5に示しました。水温は0m深で14～20℃台、50m深で13～20℃台、100m深で12～19℃台、200m深で8～17℃台でした(図2)。
- 前月と比較すると、141° E～141° 30' Eでは湧昇が起こり、降温傾向となりました。141° 30' E以東では、黒潮からの暖水波及による影響で昇温傾向となりました(図3)。
- 平年と比較すると、0m深では概ね「やや高め～高め」、50m以深では141° E～141° 30' Eで概ね「平年並～やや高め」、他で「やや高め～極めて高め」となりました(図4)。
- 潮流は141° 10' E以東で真潮傾向となりました。

2 本県周辺海況の現況

- 本県海域の0m深水温は14～20℃となっています(図1)。
- 黒潮は犬吠埼の東45マイル、塩屋埼の東45マイルを北北東に流れています。黒潮の北限は145° E付近で38° 30' N付近まで達し、北偏しています(4月6日発行の海上保安庁「海洋速報」より)。
- 本県沖合域を流れる黒潮の影響によって、水温が平年よりも高くなっています。141° E～141° 30' Eでは、湧昇が起こったことで前月よりも水温が低下しましたが、依然として平年よりも水温が高い傾向が継続しています。

3 今後1か月の見通し

- 黒潮の立ち上がりは今後も継続すると考えられ、141° E以東を中心に全層で黒潮からの暖水波及や反流による影響がみられるでしょう。
- 南風が強く吹いた場合には、湧昇による水温の低下がみられるでしょう(ただし、暖水波及の影響で、水温は平年よりも高め傾向となるでしょう)。
- 1か月後の水温は、黒潮とその暖水波及により、0m深では「やや高め～高め」、100m深では「平年並～高め」で推移する見込みです。

【参考】4月の0m深の平年値(142° E以西の30年間(1991-2020)の平均水温)
(定線別平年値*) 会瀬: 11～14℃台、大洗: 11～14℃台、鹿島: 12～16℃台、犬吠埼: 13～17℃台
詳しい情報は茨城県水産試験場ホームページをご覧ください。

(回遊性資源部 小熊 進之介)

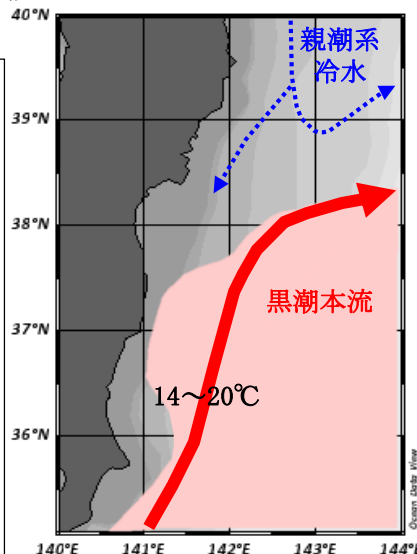


図1. 海況の現況 (4月5日)

※水温は平年値と比較して、
±1.5℃が「平年並」、
±1.6～3.9℃が「やや高め・やや低め」、
±4.0～6.0℃が「高め・低め」、
±6.1℃以上が「極めて高め・極めて低め」

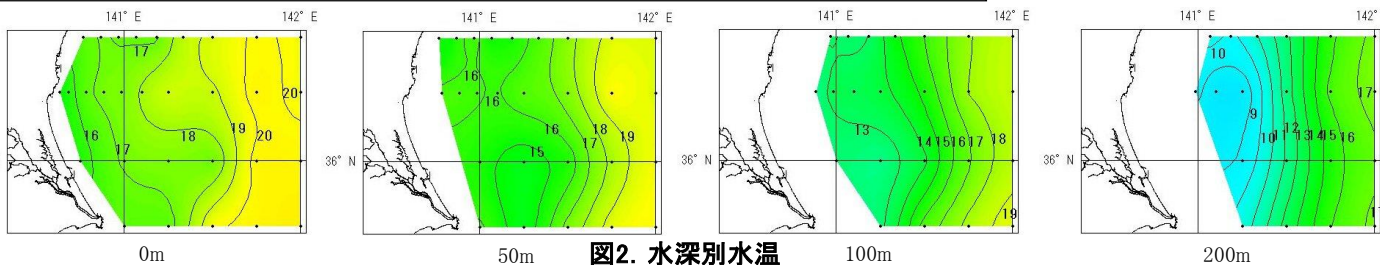


図2. 水深別水温

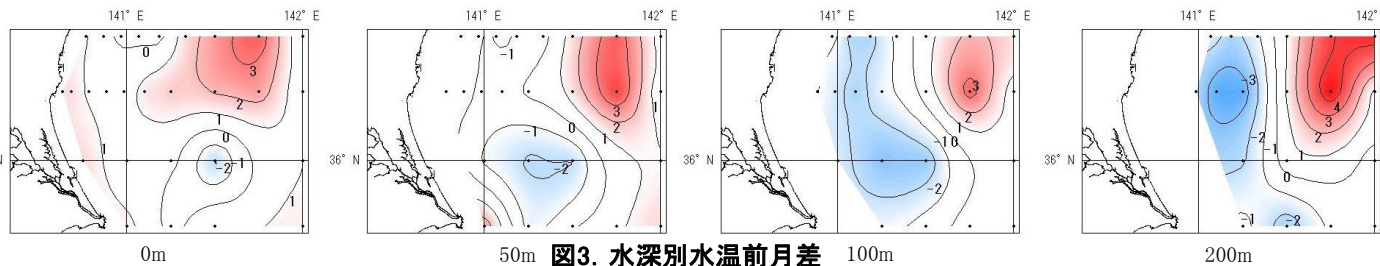


図3. 水深別水温前月差

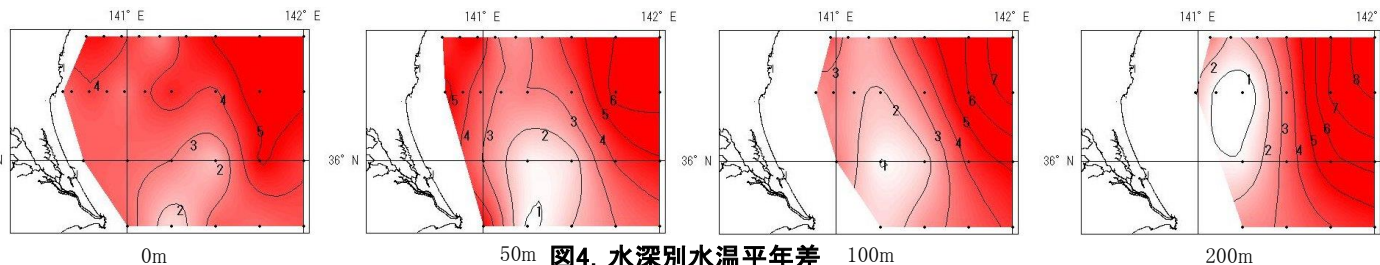


図4. 水深別水温平年差

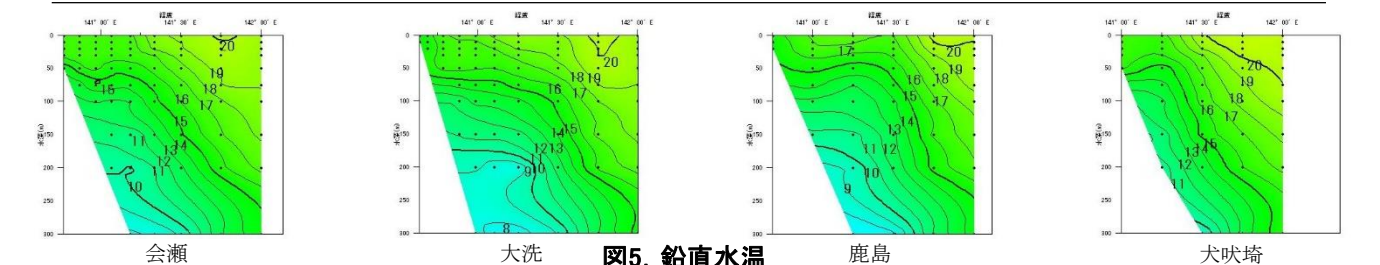


図5. 鉛直水温

【次号予告】R5.4.21.発行の「水産の窓」は、『保冷魚倉によるシラス漁獲物の鮮度管理』を予定しています。